



(本発表のお問い合わせ先)

政策課

広報資料取扱主任: 吉田 幸弘

電話 087-839-2135

【市長定例記者会見】まちづくりタウンミーティング(市民と市長の意見交換会)を開催します！！

「次期高松市総合計画」の策定等に当たり、市民の皆様と、市政の課題の共有・意見交換を行い、素案へ反映させるため、まちづくりタウンミーティング(市民と市長の意見交換会)を開催します。

開催日程

- 第1回 7月25日(火)19:00~20:00 高松市役所本庁舎
- 第2回 7月28日(金)19:00~20:00 仏生山交流センター
- 第3回 7月29日(土)13:30~14:30 オンライン

■リンク:

・https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/keikaku/sogo/kikaku/sogo/7thsakutei/town_meeting.html

■添付資料:

- ・まちづくりタウンミーティング開催チラシ



まちづくり タウンミーティング開催

市民と市長との意見交換会

次期高松市総合計画の策定に当たり、市民の皆様と市政の課題の共有や意見交換を行い、その内容を計画の素案へ反映させ、みんなで作る計画とするため、意見交換会を実施します。

令和5年

第1回 7/25(火) 19:00~20:00 高松市役所本庁舎

第2回 7/28(金) 19:00~20:00 仏生山交流センター

第3回 7/29(土) 13:30~14:30 オンライン

※3回とも同じ内容です。

事前申込制

人数制限なし

市長に直接聞ける

下記お問い合わせ先のQRコードを読み取っていただくか電話・メールでお申し込みください。多数の方の御参加をお待ちしております。

お問い合わせ

高松市市民政策局政策課
TEL：087-839-2135 MAIL：seisaku@city.takamatsu.lg.jp
時間：月曜～金曜/8:30～17:15（祝日を除く）

参加はこちら！▶





(本発表のお問い合わせ先)

美術館美術課

広報資料取扱主任: 牧野 裕二

電話 087-823-1711

【市長定例記者会見】

高松市美術館特別展「上田薫展」を開催します。

休館日: 月曜日(ただし、7月17日(月・祝)、9月18日(月・祝)開館、7月18日(火)休館) 開館時間: 9:30~17:00
(ただし、金・土曜日は19:00閉館/入室は閉館30分前まで) 観覧料: 【一般】1,200円(960円) 【大学生】600円(480円) 【高校生以下】無料
※()内は前売、20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料 ※前売券は、高松市美術館1階受付、高松市役所生涯、ゆめタウン高松サービスカウンター、宮脇書店本店及び南本店にて7月14日(金)まで販売(詳細な販売開始時期は各店舗へお問い合わせください)
主催: 高松市美術館 特別協力: 名古屋画廊 助成: 公益財団法人朝日新聞文化財団、公益財団法人花王芸術・科学財団

上田薫(なまよこ)1978年、高松市美術館蔵

リアル
ない
見たことの
誰も

高松市美術館開館35周年記念特別展

上田薫展

1978/KAORU UEDA



TAKAMATSU ART MUSEUM
高松市美術館

7.15_土 9.18_{月祝}
2023

■企画概要

高松市美術館開館 35 周年記念特別展「上田薫展」

主催： 高松市美術館

特別協力： 名古屋画廊

助成： 公益財団法人 朝日新聞文化財団、公益財団法人 花王芸術・科学財団

会期： 2023 年 7 月 15 日（土）～9 月 18 日（月・祝）

会場： 高松市美術館 2 階展示室

休館日： 月曜日（ただし、7 月 17 日（月・祝）、9 月 18 日（月・祝）開館、7 月 18 日（火）休館）

開館時間： 9 時 30 分～17 時（但し金曜日、土曜日は 19 時閉館／入室は閉館 30 分前まで）

入場料： 【一般】1,200 円（960 円）、【大学生】600 円（480 円）、【高校生以下】無料

※（ ）内は前売、20 名以上の団体料金

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料

※前売券は、高松市美術館 1 階受付、高松市役所生協、ゆめタウン高松サービスカウンター、宮脇書店本店及び南本店にて 7 月 14 日（金）まで販売（詳細な販売開始時期は各店舗へお問い合わせください。）

内容：

なま玉子やゼリーなど身近なモチーフを超写実的に描く上田薫（1928～）。独自のスタイルでリアルを極限まで追求した上田の初期の作品から最新作までを紹介します。

上田薫は、1928 年東京に生まれ、1954 年東京藝術大学を卒業後、抽象画家としてキャリアをスタートさせます。その後グラフィックデザイナーとして活躍した上田は、1960 年代に再び絵画制作に取り組み、70 年代には写真を使って対象を精巧に描き出す独自の写実表現を確立し、そのリアリティは子どもから大人までを魅了し続けています。瞬間を捉えた写真をもとにして精巧に描き出すその手法は、情報技術が進み写真や映像の表現が進化し続けている現代においても、また新しい視点で観客の目を楽しませます。

本展では、モチーフを拡大し超写実的に描いた油彩画はもちろん、大学時代に描いたデッサンや初期の抽象絵画も展示します。さらには本年に描かれた最新作まで紹介し、スーパーリアリズムからは離れながらも多彩な表現を続ける上田の描くことへの飽くなき興味と挑戦を感じていただけることでしょう。

瞬間を鮮やかに描いた上田薫の世界を存分にお楽しみください。

■上田薫 プロフィール

1928 年東京府代々木（現・東京都渋谷区）生まれ、神奈川県鎌倉市在住。1954 年東京藝術大学絵画科油画専攻卒業。1956 年 M G M 社ポスター国際コンクール国際大賞を受賞し、グラフィックデザイナーとして活動する。70 年頃から、玉子やゼリーなど日常的な事物を撮影した写真を元に、モチーフを拡大して超写実的に描く作品を制作するようになる。75 年、第 11 回現代日本美術展東京国立近代美術館賞受賞等多数。85 年茨城大学教授（～93 年まで）、93 年山野美容芸術短期大学教授（～99 年まで、99 年～2016 年同客員教授）を歴任。個展に、2000 年「スーパーリアリズム絵画 上田薫展一流れ移ろう時間の姿」（光と緑の美術館、相模原）、03 年「上田薫展——自然 その一瞬の輝き」（相模原市民ギャラリー、神奈川）、14 年「ふしぎ ふしぎ 超リアル！ 上田薫のスーパーリアリズム」（水戸市立博物館、茨城）、18 年「画集刊行記念 上田薫展—ユレイカの瑞々しい輝き—」（名古屋画廊、愛知）等、20 年に横須賀美術館、埼玉県立美術館にて大規模な回顧展「上田薫展」が開催された。グループ展多数。

プレスリリースお問合せ 高松市美術館 Tel: 087-823-1711 Fax: 087-851-7250

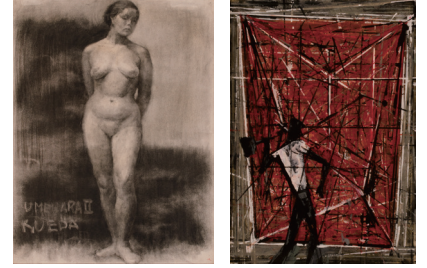
展覧会担当：石田智子 tomoko_10369@city.takamatsu.lg.jp 広報担当：福田千恵 a160159@city.takamatsu.lg.jp

■ みどころ

初期の未公開作品を展示！

本展に際してアトリエを調査する中で見つかった、東京藝術大学在学時、当時教授であった梅原龍三郎のクラスの課題で描いたデッサンや、大学卒業後、抽象画家として作風を模索していた時代のスケッチや習作など、これまで公開されてこなかった作品を展示します。スーパーリアリズム以前の上田の活動を回顧します。

(画像)《デッサン (裸婦)》1952 頃、《習作 (「工事現場から抽象表現主義へ」より)》1954-57 頃



なま玉子、ゼリー、しゃぼん玉……様々なモチーフのスーパーリアリズム作品

上田の代名詞ともいえる、なま玉子が割れる瞬間を描いた作品や、スプーンの上のゼリーやジャム、アイスクリームをモチーフにしたもの、透明な泡やしゃぼん玉を拡大して描いたものなど、スーパーリアリズムの手法で描かれた作品群 50 点以上から上田の描写力を存分に感じられる展示です。

(画像)《スプーンに水あめ A》1983 年



最新作や映像で現在の活動を紹介

現在は、高齢で身体の不自由もあり、油彩画は手掛けていませんが、今も描き続けている色鉛筆や鉛筆によるスケッチやイラストを展示します。また本展の準備に際して見つかった初期の作品を見せた際の様子などを映像で紹介し、上田の描くことへの飽くなき興味と挑戦を感じていただけることでしょう。

(画像)《かぼちゃんず II》1983 年



■ 関連イベント

記念対談「上田薫の絵画」

上田葉子氏と長年上田薫作品を展示してきた横井孝蔵氏をお迎えし、出品作品について制作の背景などを対談形式でお聞きします。(聞き手：当館学芸員) ※手話通訳有、耳が聞こえない方にも参加いただけます。

日時： 7 月 15 日 (土) 13:30 ~ 15:00 (13:15 開場) © SNS ライブ配信予定。詳細は HP をご覧ください。

講師： 上田葉子 (キルト作家 / 上田薫妻)、横井孝蔵 (光と緑の美術館)

会場： 1 階講堂

定員 先着 100 名 申込不要

参加費：無料

ギャラリートーク

・学芸員 7 月 16 日 (日)、8 月 12 日 (土) 各 14:00 ~

・ボランティア civi 会期中の日曜日 (ただし 7 月 16 日、30 日、9 月 10 日を除く) 各 14:00 ~

・おしゃべり鑑賞会 7 月 30 日 (日)、9 月 10 日 (日) 各 14:00 ~

(参加者皆で対話しながら作品を鑑賞します。)

会場： いずれも 2 階展示室 / 申込不要 / 要観覧券

プレスリリースお問合せ 高松市美術館 Tel: 087-823-1711 Fax: 087-851-7250

展覧会担当：石田智子 tomoko_10369@city.takamatsu.lg.jp 広報担当：福田千恵 a160159@city.takamatsu.lg.jp

■関連イベント（つづき）

ワークショップ「スプーンのなかの世界」

展覧会を鑑賞した後に、スプーンに映り込む世界を画用紙に描きます。

日時： 7 月 16 日（日）① 10：00～12：00 ② 14：00～16：00

講師： 松尾真由美（美術家）

会場： 3 階講座室

定員・対象： 小学生以上・各 20 名（抽選）

受講料：500 円

申込方法：7 月 1 日（土）～7 月 7 日（金）の間に、HP 内の「上田薫展関連ワークショップ申込フォーム」より申込、7 月 8 日（土）に抽選結果をメールで通知。

エントランス・ミニコンサート「Soundscapes in Summer」

日時： 8 月 5 日（土）13：30～14：15

出演： 香川大学ウィンド・アンサンブル（協力：香川大学 監修：青山夕夏）

会場： 1 階エントランス・ホール

無料・申込不要

託児サービス

小さなお子様（6 か月～未就学児）がいる保護者の方に、お子様を預けて展覧会やギャラリートークを楽しんでいただけるサービスです。

日時： 7 月 16 日（日）13：00～16：00

協力： 託児ボランティアあゆみ

定員： 6 名（先着順） 申込： 7 月 1 日（土）より電話で受け付けます。

出張美術館

各会場で上田薫の小作品を展示します。“本物”の作品を間近で見ることができます！こども向けの工作ワークショップも開催します。（申込不要／入場無料）

日時・会場：① 6 月 22 日（木）9：00～16：00・牟礼コミュニティセンター（香川県高松市牟礼町牟礼 302-1）

② 7 月 3 日（月）9：00～16：00・山田総合センター（香川県高松市川島本町 191-10）

■ 8 月 5 日（土）は「美術館の日」

高松市美術館の誕生日をお祝いし、どなたも観覧料無料でご覧いただけます！

【同時開催】

特別企画「小川信治展 Better Half 回帰の手法」

会期： 7 月 15 日（土）～9 月 18 日（月・祝） ※ランチギャラリーのみ 7 月 22 日（土）から開催。

会場： 2 階展示ロビー、1 階図書コーナー、ランチギャラリー（高松丸亀町商店街内）

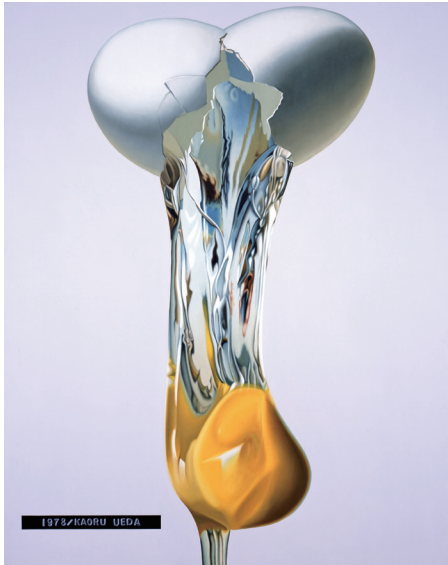
入場料：無料



プレスリリースお問合せ 高松市美術館 Tel: 087-823-1711 Fax: 087-851-7250

展覧会担当：石田智子 tomoko_10369@city.takamatsu.lg.jp 広報担当：福田千恵 a160159@city.takamatsu.lg.jp

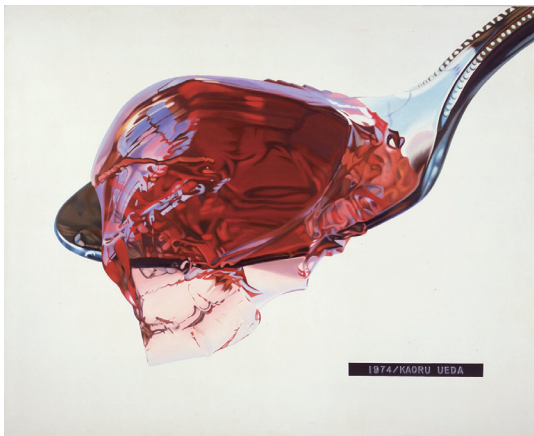
■ 広報用画像（ご希望の方は下記の広報担当にお知らせください。）



①



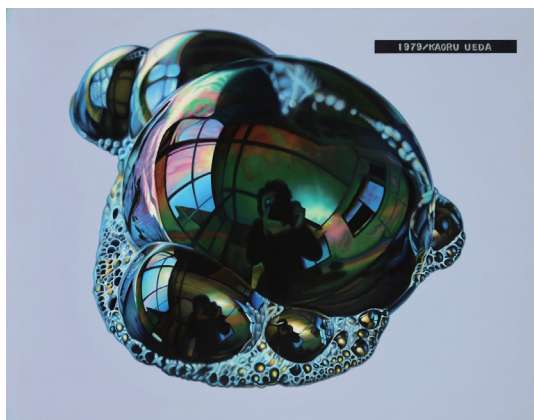
②



③



④



⑤



⑥

キャプション・クレジット

① 《なま玉子 J》1978 年、高松市美術館蔵 ② 《貝殻》1970 年、個人蔵 ③ 《スプーンのジェリー B》1974 年、高松市美術館蔵 ④ 《フライドエッグ C》1976 年 ⑤ 《あわ D》1979 年 ⑥ 《サラダ E》2014 年

プレスリリースお問合せ 高松市美術館 Tel: 087-823-1711 Fax: 087-851-7250

展覧会担当：石田智子 tomoko_10369@city.takamatsu.lg.jp 広報担当：福田千恵 a160159@city.takamatsu.lg.jp